

所 属	総務部情報企画課			令和3年度担当所属名
係 名	情報システム係	内線	2277	総務部デジタル戦略推進課
	地域情報化係		2256	

「新たな日常」に向けた行政デジタル化の推進

1 事業費	54,846 (前年度 0)			
	【財源内訳】	【主な使途】		
	一般財源 54,846	委託料	38,735	
		使用料	15,783	

2 背景・事業目的

県では県民への行政サービス向上等に資するためのデジタル施策を展開するため、「岐阜県デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画」の策定を進めている。

アフターコロナ時代の「新たな日常」の実現に向け、AI（人工知能）や電子申請システムを活用して、県民からの問い合わせや申請等にきめ細かく対応できる体制を整えるとともに、職員がテレワークを行うための環境整備を進める。

3 事業概要

（1）電子申請共通基盤整備事業費（24,858千円）

- LINEを入口として、県民からの様々な行政相談にAIがチャットで自動応答するシステムを運用する。
- 新** 手数料等の徴収を要する申請や、申請者へ許可証等の交付を伴う申請等にも対応できる汎用電子申請基盤を新たに整備し、行政手続のオンライン化を推進する。

新（2）職員テレワーク（モバイル）環境整備事業費（29,988千円）

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、大規模災害発生時等にも対応できるよう、職員個人のモバイル端末からも職員メール等の業務情報に安全にアクセスできるシステムを整備する。

※ 令和2年度に配備済みの在宅勤務用パソコン（教育委員会分を含め1,400台）に加えて本事業を実施することで、全職員がリモートで職員メール等による連絡調整が可能となる。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (5) 情報化推進費
(明細書事業名)	○システム管理費	
	行政情報ネットワーク管理費	
	○情報化推進費	
	情報施策推進費	

所 属	総務部県庁舎開設準備課			総務部県庁舎建設課		
係 名	管理・事業調整係	内線	2249	管理調整係	内線	2249

新県庁舎建設の推進

1 事業費 30,900,868 (前年度 6,713,957)
(債務負担行為 令和3～4年度 15,181,476千円)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫	306,855	工事請負費	30,568,134(庁舎建設費等)
県債	22,826,300	委託料	299,803(設計費等)
一般財源	7,767,713		

2 背景・事業目的

現県庁舎は、老朽化、狭隘化に加え、大規模地震発生時に災害対策の中核拠点として十分に機能できる耐震性が満たされていないため、平成29年度より新県庁舎の設計を進め、令和元年度から建物本体の建設工事、令和2年度から道路、公園及び外構工事等に着手している。

令和3年度は工事を着実に進めるとともに、移転・開庁に向け、庁舎の具体的な管理・運用方法の検討や移転等に係る基本計画の作成を行う。

3 事業概要

(1) 行政棟・議会棟の建設工事 (28,838,007千円)

<令和元～4年度 建設工事費> 483億円

行政棟(403億円): 鉄骨造、免震構造(一部耐震) 21階建 高さ106m 延床68,303㎡
議会棟(80億円): 鉄骨造、耐震構造 6階建 高さ32m 延床13,937㎡

(2) 建設工事監理、外構工事等 (1,888,974千円)

本体工事等の工事監理、敷地内道路や公園などの外構工事等を実施

(3) 移転・開庁に向けた検討等 (173,887千円)

移転等に係る基本計画の作成等を実施

<事業スケジュール>



※令和3年度末には、行政棟及び議会棟の外装工事が概ね終了する見込み。

(款) 2 総務費 (項) 1 総務管理費 (目) (8) 庁舎管理費
(明細書事業名) ○ 県庁舎管理費
県庁舎再整備事業費・県庁舎修繕等工事費